

第99回兵庫県産科婦人科学会学術集会 8月3日(日)現地会場プログラム (簡易版)

8:55 開会の辞

	座長		演題名	発表者	所属施設
産科1 (9:00-9:45)	兵庫県立こども病院 船越 徹先生	1	一絨毛膜二羊膜双胎の羊膜自然穿破により両児子宮内胎児死亡となった1例	川本 真愛	神戸大学
		2	出生前画像診断で胎児小腸閉鎖を疑われ生後にHirschsprung病類縁疾患と判明した1症例	松本 培世	兵庫県立こども病院
		3	当院におけるChiari奇形合併妊娠2例の検討	直原 匡志	関西ろうさい病院
		4	血小板アフェレーシスを施行し、無事に経膈分娩できた本態性血小板血症合併妊婦の一例	浜口 真菜美	神戸大学
		5	生後に診断された単心室症	平久 進也	兵庫県立こども病院
婦人科(生殖) (9:45-10:30)	オガタファミリークリニック 緒方 誠司先生	6	生殖補助医療(ART)による妊娠とボンディング障害のリスク	田中 あゆみ	あさざり病院
		7	In-house検査化した抗精子抗体および精子受精機能検査の現況	柴原 浩章	英ウィメンズクリニック
		8	NK細胞活性異常を伴う反復着床不全、不育症に対するイントラリビッド療法の有用性の検討	佐伯 信一郎	英ウィメンズクリニック
		9	当院における卵管鏡下卵管形成術後の一般不妊治療成績	松本 由紀子	プリュームレディースクリニック
		10	卵子提供による体外受精・胚移植で生児を得たXY純粋型性腺形成不全症(Swyer症候群)の2症例	水澤 友利	英ウィメンズクリニック
ブレイク1 (10:30-10:40)					
婦人科1 (10:40-11:16)	兵庫県立西宮病院 橋本 香映先生	11	閉経周辺期の過多月経による貧血への対策～sequential therapyの考察～	藤原 卓夫	あさざり病院
		12	当院で手術療法を施行した帝王切開子宮癒着症の3症例	松井 萌	神戸医療センター
		13	腹腔鏡手術時の左右誤認に対する当院での対策	楠元 理恵	姫路赤十字病院
		14	ロボット支援下子宮全摘術高難度症例の検討	森田 宏紀	甲南医療センター
産科2 (11:16-12:01)	神戸大学 谷村 憲司先生	15	当院において新生児尿紙尿を用いたCMVスクリーニング検査で陽性となった2例	河崎 あさひ	あさざり病院
		16	腹腔鏡下手術後にMTX投与を要したS状結腸間膜妊娠の一例	守本 佳暖	神戸市立医療センター中央市民病院
		17	乳がん患者のがん生殖医療と周産期管理における多職種連携による集学的対応の経験	太田 凧	兵庫医科大学
		18	当院における無痛分娩に対応出来る助産師と指導者の育成方法	上田 大介	母と子の上田病院
		19	産科用語の歴史的考察 –その調査方法について–	小野 吉行	小野レディースクリニック
12:15-13:25 ランチョンセミナー (共催:富士製薬工業株式会社) 『ホルモンの特性を知ってLEPを使いこなす～最適な選択への近道～』 愛知医科大学医学部 産婦人科学講座 教授 大須賀 智子先生					
総 会 (13:25-14:15)					
ブレイク2 (14:15-14:25)					
婦人科2 (14:25-14:52)	神戸市立医療センター中央市民病院 青木 卓哉先生	20	当院の骨盤臓器脱手術について	井川 洋	明石市立市民病院
		21	日帰り子宮鏡手術(組織回収モルセレーターシステム)を導入して	木内 千暁	木内女性クリニック
		22	当院における経腔的内視鏡手術(vNOTES)の導入経験	青山 麻衣	兵庫県立尼崎総合医療センター
婦人科(がん) (14:52-15:46)	兵庫医科大学 鏑本 浩志先生	23	子宮体癌再発に対してレンパチニブ+ペムプロリズマブ併用療法にて長期生存した一例	中務 日出輝	姫路聖マリア病院
		24	当院における子宮体癌とタモキシフェン内服の現況	中根 慎一郎	姫路赤十字病院
		25	化学療法中の貧血に対する高用量鉄注射剤投与の試み	本田 晴香	兵庫医科大学
		26	腔中隔から発生した若年性腔内細胞癌の一例	海府 葉	神戸大学
		27	再発子宮体癌に対する初回治療としてのMPA療法の有効性	成田 幸代	兵庫医科大学
		28	ロボット支援下ステージング手術と卵子・卵巣組織凍結を併用した卵巣明細胞癌IA期の1例報告	脇本 裕	兵庫医科大学
15:55-16:55 特別講演 『難治性婦人科癌との対峙:基礎と臨床の立場から』 大阪大学大学院医学系研究科・医学部 産科学婦人科学 教授 小玉 美智子先生					

16:55 閉会の辞

17:30 意見交換会 park kitchen WEEKEND (東遊園地内)